

## デモンストレーションコース



詳細・お申込み▲

## Course Director

俵木 勉  
Tsutomu Tawaragi

## Instructor

渡辺 隆史  
Takashi Watanabe小滝歯科医院院長  
明海大学歯学部臨床教授  
日本顎咬合学会元理事長・指導医  
日本歯内療法学会専門医  
日本口腔診断学会認定医  
アメリカ審美歯科学会会員  
アメリカ歯周病学会会員  
Takei-KAWAZU STUDY CLUB会長  
いづな総合歯顎研究会 (ITDC) 主宰上濱 正  
Akira Uehamaウエハマ歯科医院 院長  
明海大学歯学部臨床教授  
朝日大学歯学部客員教授  
日本歯科大学生命歯学部  
客員教授  
日本顎咬合学会 元理事長・指導医  
日本補綴歯科学会 専門医・指導医  
日本臨床歯周病学会 認定医貞光 謙一郎  
Kenichiro Sadamitsu貞光歯科医院院長  
日本顎咬合学会・指導医  
日本審美歯科学会・認定医  
日本臨床歯科学会 Fellow  
朝日大学非常勤講師嶋田 淳  
Jun Shimada明海大学歯学部  
付属明海大学病院教授龍田 恒康  
Tsuneyasu Tatsuta明海大学歯学部  
病態診断治療学講座  
口腔顎顔面外科学分野  
教授辰巳 順一  
Junichi Tatsumi朝日大学歯学部  
口腔感染医療学講座  
歯周病学分野教授  
日本歯周病学会  
専門医・指導医  
日本顎咬合学会指導医林 丈一朗  
Joichiro Hayashi明海大学歯学部  
口腔生物再生医工学講座  
歯周病学分野教授  
日本歯周病学会  
指導医・専門医平井 順  
Jun Hirai平井歯科院長  
歯学博士  
元日本大学客員教授  
明海大学歯学部臨床教授  
国際歯科学士会日本部会監事  
米国歯内療法学会(AAE)  
アクティブメンバー  
米国歯周病学会(AAP)会員  
日本顎咬合学会 認定医・指導医  
日本歯内療法学会 専門医・指導医宮崎 真至  
Masashi Miyazaki日本大学歯学部  
保存学教室修復学講座教授  
日本審美歯科学会理事  
日本接着歯学会理事  
日本歯科保存学会理事  
日本歯科理工学会代議員

パッケージコース(一括受講)

主な認定制度

【パッケージコース番号:16250200】

¥220,000

 日本歯科医師会認定研修会 明海大学「歯科総合医」認定研修会

デモンストレーションコースは、一口腔単位で治療を行っていくうえで基礎となる、各臨床分野「診査診断・保存修復・歯周治療・歯内療法・クラウンブリッジ・総義歯・デジタルデンティストリー・インプラント・口腔外科・矯正」における基本的な臨床手技の理解を深めることを目的としています。各セクションでは、講師が重要なポイントをデモンストレーションを交えて解説します。講師が行う、実際の手の動きを見ることで、より理解が深まり、明日からの臨床に役立てることができます。

また、コースを全て受講することで、どのような局面でどのような治療を選択すれば良いか、適切な治療計画と適切な治療を選択する力を養うことができます。

紹介動画を見る▶



## プログラム内容

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>1 診断と治療計画</b><br/>治療のリスクと選択肢<br/>ーリスクを回避した治療を選択するための診断と治療計画ー<br/>講師／渡辺 隆史</p> | <p><b>7 総義歯</b><br/>全部床義歯補綴臨床の基本マスター<br/>講師／上演 正</p>              |
| <p><b>2 歯周病の検査と診断</b><br/>歯周病の病態把握に有用な検査と歯周病診断<br/>講師／辰巳 順一</p>                     | <p><b>8 審美修復の理論と実際</b><br/>ー進化するデジタル機器をもちいてー<br/>講師／貞光 謙一郎</p>    |
| <p><b>3 歯周基本治療</b><br/>スケーリング・ルートプレーニングの手技<br/>講師／林 丈一朗</p>                         | <p><b>9 インプラント</b><br/>1から始めるインプラント治療ー全身管理とリスク評価ー<br/>講師／嶋田 淳</p> |
| <p><b>4 保存修復</b><br/>MIを可能とするダイレクトボンディング<br/>講師／宮崎 真至</p>                           | <p><b>10 小外科手術(埋伏抜歯)</b><br/>埋伏歯の適切な抜歯方法<br/>講師／龍田 恒康</p>         |
| <p><b>5 歯内療法(歯髄保護とエンド)</b><br/>MIー歯髄を保護する低侵襲治療から根管治療までの基礎知識とデモー<br/>講師／平井 順</p>     | <p><b>11 矯正治療</b><br/>矯正治療を一般臨床に活かすーMTMの臨床応用ー<br/>講師／渡辺 隆史</p>    |
| <p><b>6 半調節性咬合器</b><br/>デジタル時代だからこそ必要な咬合の基礎知識<br/>ー半調節性咬合器の使い方ー<br/>講師／渡辺 隆史</p>    |   |



定員：15名

日時：2025年4月20日(日)10:00～16:30

会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料：¥25,000

口腔の健康は、全身の健康維持に深く関わっています。しかしながら、歯の平均寿命は、咬合の鍵となる下顎第一大臼歯で男性約55歳、女性約52歳、審美の鍵となる上顎中切歯では男性約62歳、女性約61歳程度と人の平均寿命よりかなり短いのが現実です(平成11年度歯科実態調査:厚生労働省)。なぜこんなに歯の寿命は短いのでしょうか？ その問いに答えを出すことによって、我々臨床医は、患者の健康長寿に貢献できることになるはずです。

歯の寿命を延ばすためには、質の高い治療が不可欠です。さらに治療行為が患者利益に通じるものでなくてはなりません。その出発点となるのは常に「正しい診断」で、正しい診断なくして効果的な治療は生み出されません。しかしながら口腔内の環境は過酷で、正しい診断のもとに時間をかけて丁寧に行った治療であっても、予後に問題が生じることも少なくありません。治療にはリスクがつきものだからです。特に、機能や審美回復の本丸となる「補綴治療」の多くは不可逆的なため、可能な限りリスクを回避した治療、リカバリーできる治療の選択肢を考えなくてはならないでしょう。

本コースでは、治療のリスクを理解したうえで、どのような治療を選択したらよいか、実際の症例を通して皆様とともに考えてみたいと思います。



渡辺 隆史  
Takashi Watanabe

- 治療のリスクにはどのようなものがあるか、整理して解説します。
- 正しい診断を導くために何が必要か、詳しく解説します。
- 一口腔単位の治療の臨床的な評価基準について解説します。
- 治療の選択肢と治療計画の立案方法について解説します。
- 実際の長期症例をもとにした、治療計画立案のロールプレイを行い、診査診断から治療計画に至る擬似体験によって、診断と治療計画立案のスキルが身に付きます。
- 治療計画立案において悩んでいる症例があれば、それをディスカッションして解決します。



#### 学習効果

- 治療計画立案のロールプレイによって、複雑な様相を呈している症例の解決方法がわかるようになります。
- 症例相談ができます。





詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2025年5月18日(日)10:00～16:30

対象：歯科医師・歯科衛生士

会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料：¥25,000

2017年に発表された歯周病の新分類は、歯周疾患の「進行程度」と「進行速度」に分け、それぞれ「Stage」と「Grade」によって分類されます。この分類を正確に行い、より効率的で正確な治療をおこなう上で、「どのような検査、診断を行わなければならないか」について詳しく解説及びデモンストレーションを行います。

本コースには下記の内容が含まれます。

- 1) 歯周ポケット測定・アタッチメントレベルの測定・歯肉退縮量
- 2) 動揺度ってどう?
- 3) 軟組織の評価をしなければPPSはできません!!
- 4) 歯周疾患の活動性を知る方法。
- 5) 細菌検査から分かること。薬物療法は必要か?
- 6) その他、患者に直結する歯周病検査。

本コースは、歯科医師・歯科衛生士を対象に受講していただくことが可能です。

ブラッシング指導、スケーリング、フラップ手術、といった漫然とした歯周治療計画から脱却したい方にもお勧めです。

歯周病患者の病態把握がより詳細に・正確になり、治療内容も充実します。



辰巳 順一  
Junichi Tatsumi

- 歯周病検査で知られていない新たな知識が習得できます。
- より正しい検査法を理解することで、検査精度が上がります。
- 検査方法の特性を知ることによって治療計画が変わる場合を症例から学べます。





詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2025年7月13日(日)10:00～16:30

対象：歯科医師・歯科衛生士

会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料：¥25,000

歯周基本治療の目的は、患者によって異なるリスク因子を可能な限り排除することです。歯周外科治療やインプラント治療も含めた口腔機能回復治療の成否は、この歯周基本治療で決まるといっても過言ではないでしょう。

本コースでは、歯周基本治療について解説し、実習を通してスケーリング・ルートプレーニング(SRP)の手技を習得していただきます。本コースは歯科衛生士も受講可能です。

- ルートプレーニングを歯科衛生士任せにいませんか？
- 歯科医師自ら正しいルートプレーニングを学ぶことで歯周基本治療はもちろん、フラップ手術も的確に行うことができます。



林 丈一郎  
Joichiro Hayashi

### 講義 (Lecture)

1. 歯周基本治療
2. SRPの実際
3. SRPでは治らない歯周ポケット

### 実習 (Hands on)

1. 抜去歯を用いたSRPの器具操作
2. マネキンを用いたSRPのポジショニング
3. シャープニング





詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2025年7月27日(日)10:00～16:30

会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料：¥25,000

接着技術や修復材料の目覚ましい進歩とMI (Minimal Intervention: 低侵襲治療) の概念の登場で、保存修復治療の方法は大きく変わりました。現在の修復治療においては、可能な限り感染牙質のみを除去して、健全歯質を保護した治療が求められます。また適切な修復治療によって、侵襲の大きい補綴治療を回避することも可能になるため、保存修復治療は、注目度の大きい極めて重要な分野といえます。

保存修復治療を確実に適切に行うには、接着技術やレジンの特性を科学的に正しく理解しなくてはなりません。

本セミナーでは、低侵襲治療時代の保存修復治療について、その基礎を分かりやすく解説します。

- 講師の手技を実際に見ることで理解度を上げることができます。
- どのような材料を使用すればよいか、最新の情報を得ることができます。
- MI修復の重要性について理解が深まります。



宮崎 真至  
Masashi Miyazaki



【コース番号:16250205】

歯内療法(歯髄保護とエンド)

## MI — 歯髄を保護する低侵襲治療から 根管治療までの基礎知識とデモ —



詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2025年8月24日(日)10:00～16:30

会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料：¥25,000

昨今、患者様が自分の歯を保存できないかというような明確な意志を持って来院されるケースが増えています。

また、現在受けている治療が、「果たしてこれでいいのか」を判断するためにセカンドオピニオンとして受診を希望される患者様も多くなりました。こうした患者様に半端な知識や技術力で対応することは今後益々難しくなると思われます。歯内療法は患者様の信頼に直結しており、術者の力量が予後の良し悪しを決定する分野なので、常に切磋琢磨して技術を磨いておく必要があります。歯髄保存の必要性は申し上げるまでもありませんが、歯内療法は生体とバランスのとれた咬合を再構築するための第一歩であることを忘れてはいけません。臨床における基本的な考え方、器具の使用法、臨床における問題点への対応策についてデモを通して解りやすく解説したいと思います。



平井 順  
Jun Hirai

- 歯科治療の基本の基(きほんのき)!!
- 歯を保存する重要性和歯内療法の基本を学ぶことができます。
- 講師の手技を間近で観察することができます。





詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2025年9月7日(日)10:00～16:30

会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料：¥25,000

咬合は全ての臨床に通じていると言われていています。特に咬合をないがしろにした補綴治療の予後は悪く、正確な補綴治療をするうえで、まずは正しく咬合論を理解して、その知識を補綴物に反映できるようにしておかなくてはなりません。

本講演では、難解に思われがちな咬合論を、できるだけ優しく噛み砕いて説明し、得られた咬合の知識をどのように補綴物作製に活かしていくか、その勘所を解説します。

また、高精度な補綴物を作製するうえで不可欠な、半調節性咬合器の扱い方についても、デモを交えて解説します。

歯科の世界にもデジタルの波が押し寄せて、現在では従来のアナログの手法とは全く違う方法で、簡単にクラウンブリッジを作製できるようになりました。しかしながら、精度の高い補綴物を作製するためには、アナログの手法で得られた様々な知識や技術がどうしても必要になります。半調節性咬合器を使う必要があると感じている先生は、是非ご参加ください。デジタル時代だからこそ必要な咬合の基礎知識を一緒に学びましょう。

渡辺 隆史  
Takashi Watanabe

- 咬合論の要点を解説します。
- フェイスボウトランスファーと半調節性咬合器がなぜ必要か?その理由を解説します。
- フェイスボウトランスファーと半調節性咬合器の使い方をデモを通して解説します。
- 咬合の基礎知識を身につけることができます。
- 半調節性咬合器を実際に触って扱ってみることで、その仕組みを理解することができます。



紹介動画を見る▲

総義歯  
全部床義歯補綴臨床の基本マスター

詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2025年10月5日(日)10:00～16:30

会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料：¥25,000

人生100歳時代における全部床義歯補綴臨床の難しさは、形態的障害から機能的障害へと進行し治療の難易度が増大することです。

「外れない、痛くない入れ歯」を作ることだけでは患者の満足は得られなくなってきました。患者も術者も悩み、落胆している現実があります。

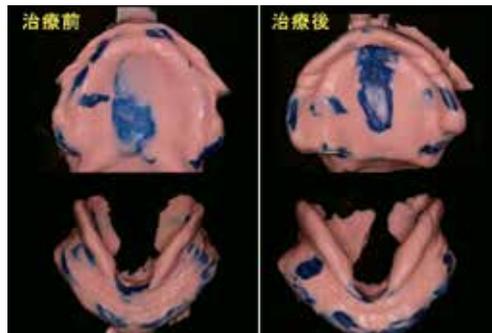
問題解決は、症例分類と難易度に応じた知識と手技を会得するための全く新しい発想が重要です。

本セミナーでは、症例分類ができ、平易な症例より知識、技能の基本をマスターしていただきます。

その後のコースを継続的に受講し症例と真摯に向き合い、生涯にわたり患者に寄り添うことで全部床義歯補綴臨床の極意を習得することができます。

上濱 正  
Akira Uehama

- 総義歯治療ができると患者信頼度が高まります。
- 症例分類によって難易度がわかります。
- 総義歯治療の基本手技をマスターすることができます。
- 総義歯における機能的障害は何かを理解することができます。





詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2025年11月16日(日)10:00～16:30

会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料：¥25,000

歯や口元の美しさを意識して来院される方が増えてきたことから審美修復という学問が確立してきました。材料学的には陶材焼き付け金属冠では成し得なかった透明感を、半透明性をもったオールセラミックスが登場しセラミックス単体で臨床に应用が可能であることから、日常臨床の中で急速に普及してきました。しかしながら上手く審美的な表現が出来ていないケースも伺われます。支台歯色とセメント色、セラミックス色が相まって最終修復物の色調が決定することを理解したうえで修復処置に臨むことが必要であると考えています。また我々の歯は菲薄であり、そのボリュームを理解したうえでの支台歯形成が必要です。今回は症例をみていただきながら審美修復を成功に導くための要件、及びデジタル機器をもちいた審美分析を学んでいただけたらと思います。



貞光 謙一郎  
Kenichiro Sadamitsu

- 審美修復の基本的客観的基準の理解
- 材料の特性や用途の理解
- デジタル機器をもちいた、これからの審美歯科





詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2025年12月14日(日)10:00～16:30

会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料：¥25,000

インプラント治療は、必然性・緊急性を要する腫瘍の切除や膿瘍の切開処置などと異なり、他に観血的処置を伴わない治療の選択肢がある処置であるから、治療を行う歯科医師の裁量権は狭くなり重い責任が課せられます。安全に行うことが強く求められます。処置中の呼吸抑制による血液中酸素濃度の低下や、血圧の変動、また不整脈の発生などは、インプラント手術中によくみられます。高齢の患者も多く、術中のモニター装着は必須です。また、気道閉塞や出血に対する対応も求められます。

本セミナーではインプラント治療中の患者安全のための知識、技能を習得いただけます。



嶋田 淳  
Jun Shimada

- インプラント治療における全身管理について学べます。
- 救急蘇生や生体モニターの見方について学ぶことができます。
- インプラント手術時に何に注意したらよいか、リスク管理の理解度を深めることができます。





詳細・お申込み▲

定員: 15名

日時: 2026年2月15日(日) 10:00~16:30

会場: 東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料: ¥25,000

日常の歯科臨床において、口腔領域の観血的処置の代表的な手技は、抜歯処置です。つまり安全に執り行うためには、小外科処置の基本的な知識と一連の手技が必要とされます。

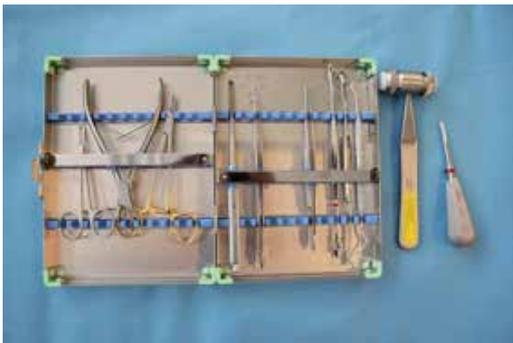
また、患者様の全身的风险や局所リスク(臨床的・解剖学的リスクも含む)などを的確に診査診断を行い、当施設での処置の可否も含めた治療計画の判断を必要とすることもあります。

今回は、抜歯処置や小外科処置における、個々の症例の全身的风险、局所リスクを配慮した周術期管理をマスターしていただきます。



龍田 恒康  
Tsuneyasu Tatsuta

- 埋伏智歯抜去処置における局所麻酔、切開、剥離、骨の切削、歯の分割、歯根の脱臼、搔爬、縫合の基本手技の確認。
- 小外科処置における合併症への対応。
- 周術期管理としての全身的风险と局所リスクのマネジメント。





詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2026年3月15日(日)10:00～16:30

会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

受講料：¥25,000

歯列不正があると、「思ったような治療ができない」、「歯列不正が邪魔になる」と誰もがそんな経験をしているのではないのでしょうか?特に欠損放置や歯周病などによって起こる病的な歯の移動(私はこれを後天的な歯列不正と呼んでいる)は、これを矯正治療で改善するか否かで予後が大きく変わってきます。

矯正治療は歯を動かすだけでなく、周囲の骨や歯肉など歯周組織のリモデリングに活用することができます。また、歯列不正を改善することで咬合が安定します。何より、矯正治療は「究極の低侵襲治療」と言えます。歯を削らずに補綴的な介入範囲を最小限に収めることが可能になる矯正治療を臨床に活かさない手はありません。

本講演では、矯正治療を活用した様々な症例を呈示して、矯正治療が果たすべき役割について考えてみたいと思います。また、アップライトやエクストルージョンなど、MTMの実際をデモを交えながら解説します。



渡辺 隆史  
Takashi Watanabe

- 矯正治療を取り入れた治療計画について症例を呈示して説明します。
- 歯の病的移動に対する矯正的な対処法について解説します。
- MTMの分類とその方法について解説します。
- アップライトとエクストルージョンに関して、デモを通してワイヤーベンディングの実際をお見せします。
- 矯正力を使った歯周組織のリモデリングに関して、その理論とメカニクスを解説したうえで、症例を呈示します。
- 矯正専門医との連携に関して説明します。



紹介動画を見る▲